

参院広島再選挙 市民と野党の共闘で自公勢力に審判を！



4月8日告示、25日投票の参院広島選挙区再選挙は、金権腐敗政治に謝罪も反省もない自民党政治に審判を下す重要な選挙であり、日本共産党は、野党統一候補の勝利へ全力を挙げています。

28日、広島県内の市民連合は「市民と野党の力で政治を変える！広島集会」を開催し、無所属新人の宮口はる子氏と政策協定を結びました。集会では、立憲野党がそれぞれ挨拶し、日本共産党からは村上昭二県委員長が

「他の野党のみなさんと一緒に頑張る」と決意を表明しました。(写真は労働者後援会の朝宣伝で訴える大平喜信前衆議院議員)

28日投票の地方選挙 赤磐市で議席増、廿日市・鏡野で議席確保

春の地方選 党の風を吹かせ全員の勝利を！

3月28日投票の地方選挙で、日本共産党は赤磐市で議席増の2議席を獲得したのをはじめ、廿日市と鏡野町で議席を確保しました。

各地の党組織と候補者は、3月1日の中井作太郎選対局長の訴え「中間地方選挙の教訓・・・後退傾向を前進へと転ずるために」に基づき、宣伝、担い手づくり、対話・支持拡大の総量を引き上げ、全力を尽くしました。

今後、4月4日投票の三原市議選をはじめ17自治体で選挙がたたかわれます。全体の力を集中し全員当選をめざしましょう。

(写真は議席増を果たした赤磐市の皆さん、すみより聡美衆院比例予定候補も全力で応援に入りました)



大平さん コロナ禍で暮らしを守る現場へ



大平さんは広島県委員会のコロナ対策本部長として現場に出かけて活動しています。3月24日には、広島弁護士会と反貧困ネットワーク広島の「暮らしとこころの相談会」に参加。相談員やケースワーカーからDV被害、生活保護申請にいたる困難事例など引き続き深刻な実態を聞きました。